

2025 年卒

7月1日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリタス就活 学生モニター2025 調査結果 (2024 年 7月発行)

2025 年卒業予定者の採用選考が 6 月 1 日に正式に解禁されてから 1 カ月が経ち、就職採用戦線は大きな山を越えた。7 月 1 日現在のキャリタス就活・学生モニターの就職活動状況について調査を行ったところ、内定率は 9 割近くに達していることがわかった。

今月も内定状況のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 7月1日時点の内定^(※)状況

- 内定率は 89.7%。前年同期実績 (86.0%) を 3.7 ポイント上回る
- 就職活動終了者は全体の 79.7%。継続者は「内定あり」「内定なし」を合わせて 20.3%

2. 就職活動継続学生の今後の方針

- 「新たな企業を探しながら、幅広く企業を広げる」が 6 月調査より増加 (23.6%→28.5%)

3. 就職環境への考え (売り手市場の実感)

- 売り手市場だと感じる学生は全体の半数強 (55.0%)。コロナ禍前と同水準

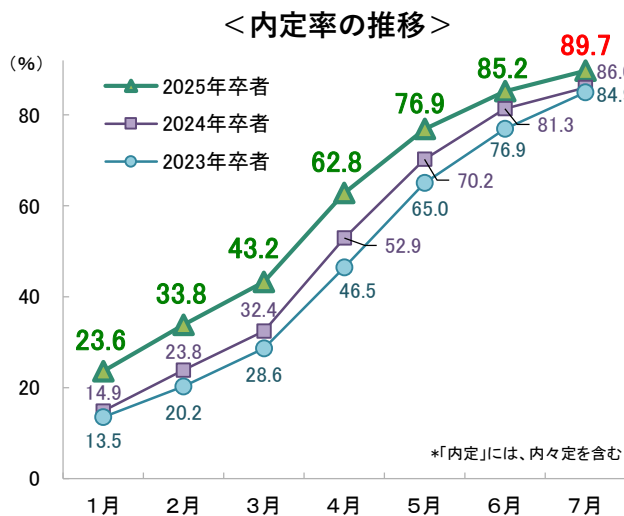
※「内定」には、内々定を含む

1. 7月1日時点の内定状況

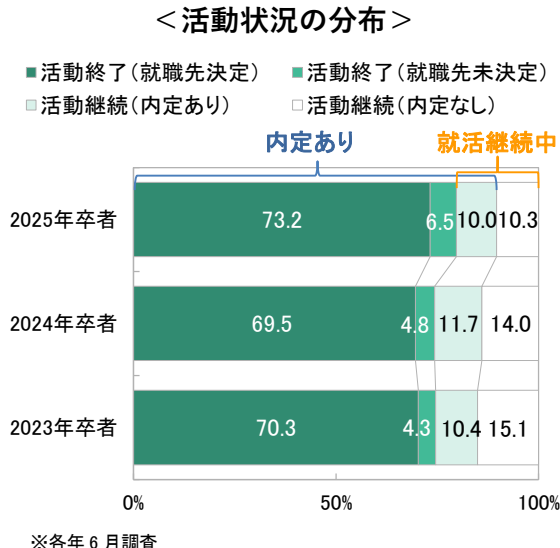
7 月 1 日現在の学生モニターの内定率は 89.7%で、9 割近くに達した。今期の内定率は序盤から前年同月を上回るペースで推移してきたが、この 7 月も引き続き前年実績 (86.0%) を上回った。

調査時点で就職先を決定して就職活動を終了した者の割合はモニター全体の 73.2%。複数内定を保留しているなど就職先未決定である者 (6.5%) を合わせて、活動終了者は 79.7%。内定率は先月調査から 4.5 ポイント増だが、終了者の割合は 15 ポイント余り増加した (64.2%→79.7%)。選考解禁を迎え本命企業の結果が出たことで、活動を終える学生が多かったのだろう。

活動継続者は「内定あり」(10.0%)、「内定なし」(10.3%) を合わせて 20.3%。



※各月1日時点

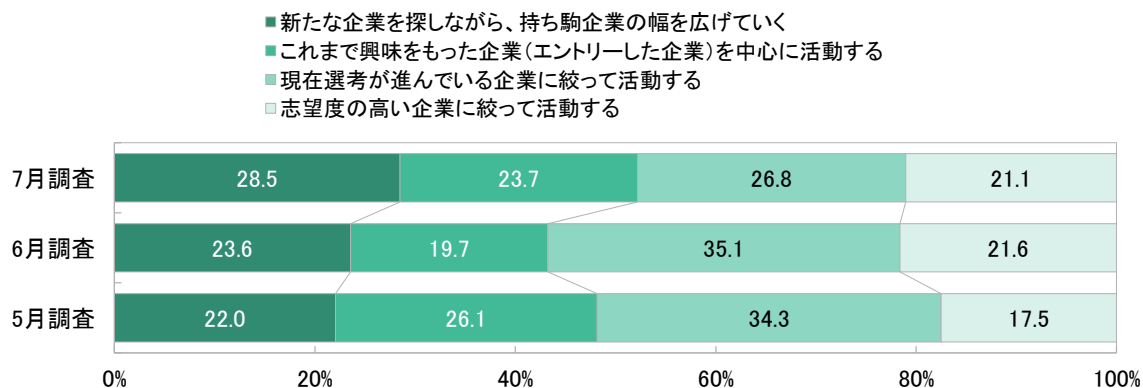


2. 就職活動継続学生の今後の方針

内定保持者を含め就職活動を継続している学生（全体の20.3%）に、今後の方針・戦略を尋ねた。

5月・6月調査では「現在選考が進んでいる企業に絞って活動する」が3割超で最も多かったが、7月は2割台に減少（26.8%）。「新たな企業を探しながら、持ち駒企業の幅を広げていく」が最も多くなった（28.5%）。持ち駒企業が少なくなってきた学生を中心に、夏採用などに向けて視野を広げて仕切り直そうとする動きが見られる。

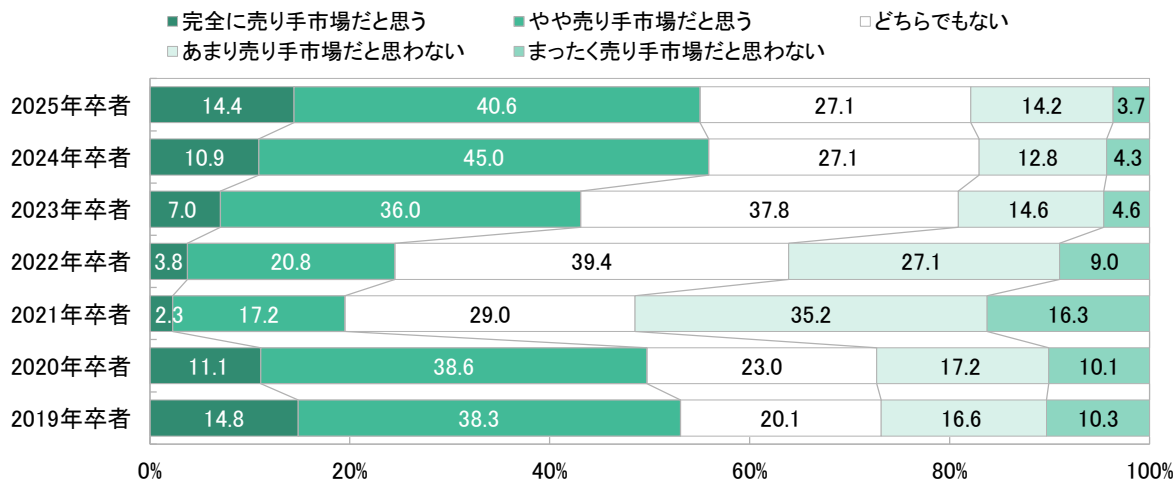
<今後の就職活動の方針・戦略>



3. 就職環境への考え（売り手市場の実感）

自分たちの就職環境をどう捉えているのかを全員に尋ねた。「完全に売り手市場だと思う」が前年調査より増えて14.4%。「やや売り手市場」を合わせると55.0%となり、就職活動を経験して「売り手市場」を実感する学生が半数を超える。前年に引き続きコロナ禍前の就活生と近い水準を示した。

<就職環境への考え（売り手市場の実感）>



調査概要

- 調査対象：2025年3月に卒業予定の大学4年生（理系は大学院修士課程2年生含む）
- 回答者数：1,123人（文系男子294人、文系女子398人、理系男子272人、理系女子159人）
- 調査方法：インターネット調査法
- 調査期間：2024年7月1日～6日
- サンプリング：キャリアス就活 学生モニター2025
- 調査実施：株式会社キャリアス/キャリアスリサーチ